

災害に備えましょう！

災害時のトイレ事情

災害が起こればトイレも被災する！

発災時には水洗トイレは水を流せないと考えてください。
 まずは簡易トイレ・携帯トイレを設置し、
 環境を整えてから給・排水機能を確認しましょう。

CHECK!

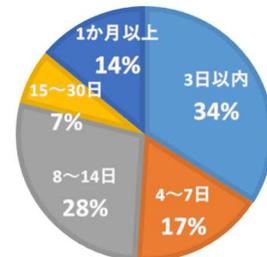
- ◆水洗トイレを使用する前には停電・断水・排水管の確認を！
- ◆水洗トイレが使えないときは携帯トイレを使う！

<携帯トイレの必要数の計算式>

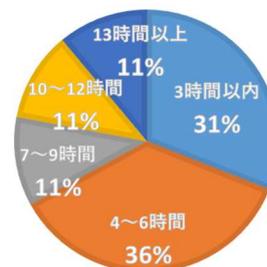
家族の人数×5回×日数

大人がトイレに行く回数は1日5回が平均になります。
 備蓄は最低でも1週間分を目標にしましょう。

仮設トイレが避難所に来るまで



発災後、何時間でトイレに行ったか



トイレ処理剤の使い方

災害時には臭いや感染症対策のため、使用後に処理剤を使いましょう。
 ここでは一般的なトイレ処理剤の使い方を説明します。



1. 便器もしくは簡易トイレに袋をかぶせる

袋が1枚しか入っていない処理剤の場合、45L ゴミ袋を
 あらかじめ便器にセットすると排便袋が水に濡れません。



2. 用を足した後、処理剤をふりかけて固める

大便を固める場合、浸る程度の水分を加えてから処理剤をかけてください。
 トイレットペーパーも一緒に袋に入れて固めてください。



3. 袋を縛って可燃ごみとして処分する

中の空気を抜きながら袋を結びます。
 結び方を二重くりにする事で臭い漏れを防ぎます。



災害時のトイレ問題で体調不良になった事例も

避難所のトイレは不特定多数の人が何度も使用します。
 そのため、汚れや臭いが気になってトイレを我慢した結果、
 体調不良になったという事例があります。



動画解説はこちら

Youtube「災害用トイレ処理セットの使い方」

トイレ処理剤をうまく活用し、
 良好なトイレ環境を保ちましょう！

【お問合せ先】防災対策課 TEL:0895-72-0131